広報きたうら

第89号
発行所　北浦村役場
北浦村大字山田
発行人
北浦村長　高柳庄次郎
さんゆう社印刷所

議会レポート

39年度決算認定など

第四回定例会

第四回定例村議会は昭和40年12月18日、7日間の会期で招集され、次の議案が可決されました。

議案第36号　茨城県市町村職員退職手当組合規約の一部を改正する事に関する関係地方公共団体の協議について

⊙地方自治法の規定によって地方公共団体が、この退職手当組合に新たに加入する場合とか、あるいは、この手当組合を構成している団体の名称を変更する場合には、協議、議決が必要なので、村においても、筑波町ほか五ケ町村防疫組合など七組合の加入をみとめ、協議、議決しました。

議案第37号　昭和40年度北浦村一般会計補正予算について

⊙伝染病対策、地籍調査費、北浦中プール建設費、成人式費等に、補正の必要が生じたので、村税、国県補助金を主財源として総額二二〇万円の追加額が可決されました。

議案第38号　昭和39年度北浦村一般会計歳入、歳出決算認定について

議案第39号　昭和39年度北浦村特別会計国民健康保険歳入歳出決算認定について

⊙両議案とも、認定、承認された。（下欄掲載）

議案第40号　昭和40年度北浦村特別会計国民健康保険歳入歳出補正予算について

⊙39年度健康保険療養給付改善特別補助金等の精算のため二〇万五千円の追加が議決され予算総額は、四、六四二万円となりました。

議案第41号　北浦村農業委員会委員の推せんについて

⊙松下与助氏の死亡により、欠員補充のため、松下松男氏（大字南高岡）が満場異議なく推せんされました。

議案第42号　茨城県市町村職員退職手当組合規約に関する専決事項について

⊙議案36号と関連するものですが、この議案は組合加入とか、名称の変更などは、そのつど協議、議決が必要であるのは、議会事務の負担を重くする等の結果となるので、事務の簡素化をはかるため自治法の規定により、村長の専決事項とする旨の議案であり議員代表五名の提案によるものでした。

母子健康センター 工事順調に

ことしの重点事業の一つ、母子健康センター建設は役場うらに高橋建設株式会社の請負で順調に進んでいます。1月12日棟上げも終わり3月20日完成予定で急ピッチ。総工費773万8千円　建坪87.65坪（写真は母子センターの上棟式　1月12日うつす）

村の数字

面積	
5,391ha	
（内訳）	
水田	869㌶
畑	1,529〃
樹園地	59〃
山林	1,256〃
その他	1,678〃

訂正　前号（八八号）の「村の数字」欄中国勢調査を40・11・1現在としましたが40・10・1現在の誤まりでしたので、訂正します。

◇昭和39年度決算にみる◇ おもな事業の成果

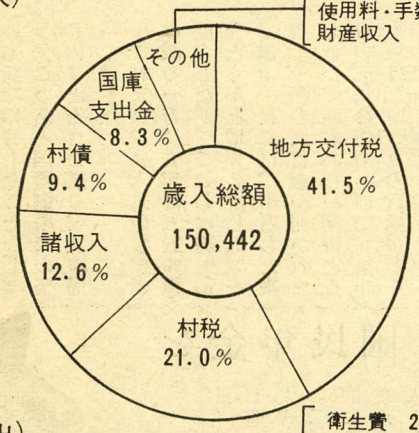
一、教育費関係
1 津澄小学校第二期工事
総工費二九、六七九千円
内国庫補助
一〇、四三八千円
2 起債額
一〇、七〇〇千円
村費額
八、五四一千円
3 鉄骨二階建四二一坪
2 高校建設負担金支出状況
鉾田二高　二〇〇千円
鉾田一高　三〇〇千円
玉造工高　二、〇〇〇千円
3 義務教育振興関係
一、三四二千円
二、消防関係
防火水槽建設費　七六〇千円（六基）

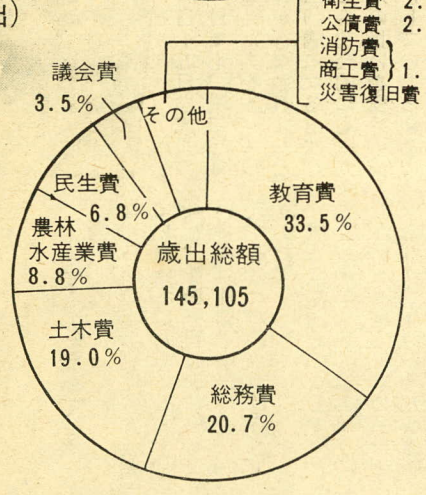
三、土木関係
1 教職員住宅建設費
一〇、〇〇〇千円
公立学校共済組合茨城支部からの借入れによって実施
2 宅地造成関係
母子健康センター建設用地として、五反六畝一八歩
一、六九八千円で取得した
3 国際電信電話株式会社誘致費として
五〇〇千円を支出
4 馬渡～大洋村札間架橋促進期成同盟会の促進運動も活発になり一〇〇千円を支出

四、民生関係
1 老人クラブ助成費
一七クラブ結成　一八九千円
2 鶴ケ居児童館整備事業
五〇千円
3 行戸児童館の運動施設整備費
六〇千円

五、保健衛生関係
結核予防検診（間接撮影BCGツベルクリン）対象人員
九、〇八一人
インフルエンザ予防接種
五、三一〇人
日本脳炎予防接種
三、〇九五人
胃集団検診
二八〇人
ジフテリヤ関係
五六八人
百日咳
四三〇人
そ族混虫駆除
二、一九九戸
防疫薬剤散布
一、六九〇戸
畜犬登録
四八九頭

六、農林水産業関係
1 黄い病の防除
一、〇二五ヘクタール
2 果樹優良品種の導入
五、一一〇本
3 落花生生産改善対策事業による小型トラクターの導入
4 豚コレラ予防（予防注射）
四回にわたり七、〇〇八頭
実施
5 農地費関係
大型トラクター購入
七、道路関係
1 新設、改良、村内道路散布
砂利費二、一〇九千円
2 道路新設改良関係
県道改良負担金
四、六八八千円
新設道路費
一、三六六千円
3 橋りょう維持費
一、二〇六千円
八、国民健康保険関係
1 療養給付費の支出状況
イ 四月から九月まで五割給付
一一、五三四千円
十月から三月まで七割給付
一四、四一九千円
計　二五、九五二千円
ロ 保険証を使用しないものに対する現金払療養費
七一九千円
2 助産諸費
一件当り二千円、一四〇件
二八〇千円を支出
3 葬祭諸費
一件当り二千円、九〇件
一八〇千円を支出
4 育児諸費
一件当り一、二〇〇円
一三六件、一六三千円を支出





ご協力ありがとう

▼歳末助け合い▲

北浦村婦人会と民生委員協議会の絶大なご協力により昨年十二月に実施した歳末助け合い運動の義えん金は、一二九千円にものぼりました。

このあたたかい義えん金は七八世帯、二六〇人の恵まれないかたがたにおくり、明るい正月を迎えていただきました。お寄せくださいましたあたたかいご協力に厚く感謝申し上げます。（村民室）

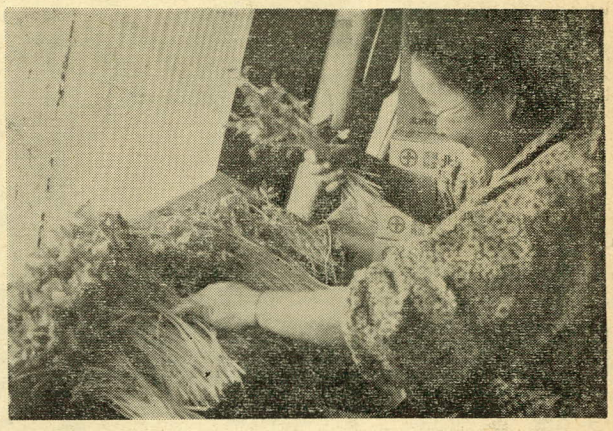
一般協力寄附
一〇六、八七〇円
北浦三育幼稚園
六、八八六円
北浦中生徒会
三、七〇〇円
県社会福祉協議会
三、八五〇円
郡善意銀行
七、七六〇円
合計　一二九、六六〇円

中学生上位独占

北浦一周 駅伝

村体育協会主催の、北浦村一周駅伝が、一月十二日行なわれました。くもり日の寒気をついて、役場前を一せいにスタート。二一・八㌔のコースを　人の選手で元気にリレー。九チームが参加しましたが、熱戦の末、北浦中Cチームが優勝したほか、三位まで中学生が独占しました。

順位つぎのとおり
①北中C　②北中B　③北中A　④要青A　⑤津澄青　⑥役場　⑦要青B　⑧武田青　⑨小中教員



出荷さかん

北浦 みつば

行戸、小貫では今みつばの出荷がさかん。「北浦みつば」と言えば、今や名実ともに日本一。四月に種をまき、十一月に根株を掘り取り、暖かいムロで一ケ月ほど育て軟化栽培したもの。日当たりのよい軒先でていねいに束ね、二㌔づつ段ボール箱につめると、東京市場へ。少し値下りして一箱七百円ぐらい。それでも一〇㌶二〇万は見込めるとのこと。

出荷の手間は大変だが、農閑期の仕事としては上々。最近は出かせぎもなくなり、としよりや子どもにもできるので、家族全員で楽しく働けるという。

五年ほど前から、急にさかんになり、村で約五五〇戸、六〇㌶ほど栽培されている。将来は、プリンスメロンレタスなどの高級野菜と組合せた有利な経営にしたいとのこと。

（写真はみつばの選別作業　―行戸で―）

掲示板

農集電話の加入申込み　農集電話の加入希望は北浦局へ。局ではこれをもとに、第二次架設（四十二年四月以降になる）の運動を進める方針。詳細は北浦局へ。

◈　◈　◈

三育幼稚園入園募集　北浦三育幼稚園ではさきに今春の入園申し込みを締め切ったが、定員まで二〇名ほど満たないので締め切りを二月二十日まで延期。

申し込みは直接三育幼稚園まで。入園についてくわしくは、十二月号をごらんください。

◈　◈　◈

お医者さんの日よう当直　医師会ではこのほど日曜休診をきめ、急病や交通事故にそなえて、交替で日曜当直をする。二月、三月の日曜当直医師はつぎのとおり。

二月				
6日	13日	20日	27日
電剣持七二	電久米七二	電石橋二二	電横瀬四

三月			
6日	13日	20日	27日
電久米七二	電石橋二二	電横瀬四	電剣持七二

◈　◈　◈

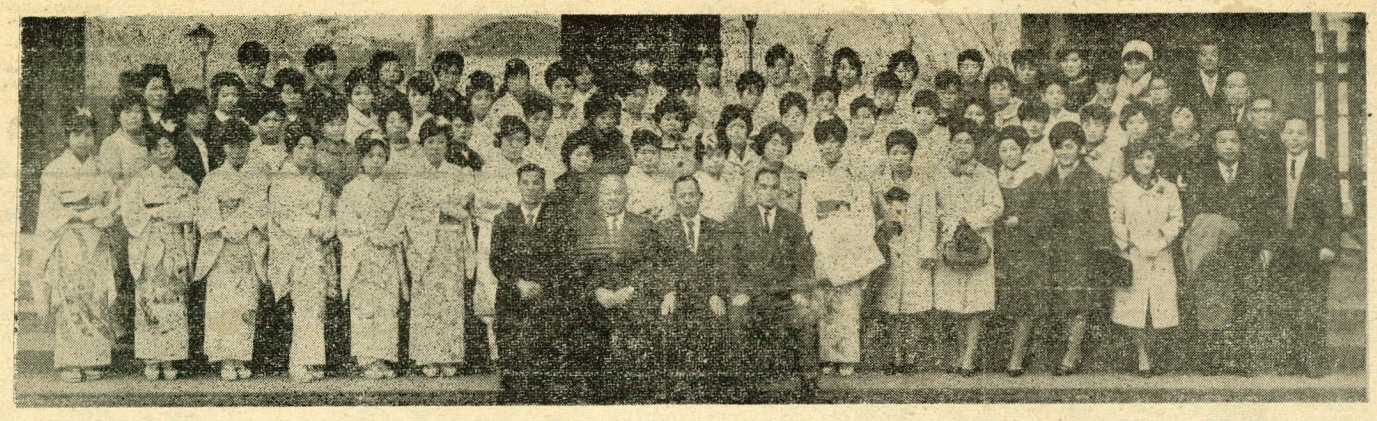
馬渡し渡舟のダイヤきまる　馬渡し渡舟は、二月一日から県営になり、動力船（鹿行丸）がつぎのダイヤで運行します。定員十二名で、料金は無料。

札発
七・〇〇　七・三〇　八・〇〇　八・三〇　九・〇〇　一〇・〇〇　一一・〇〇　一二・〇〇　一・〇〇　二・〇〇　三・〇〇　三・三〇　四・〇〇　四・三〇　五・〇〇

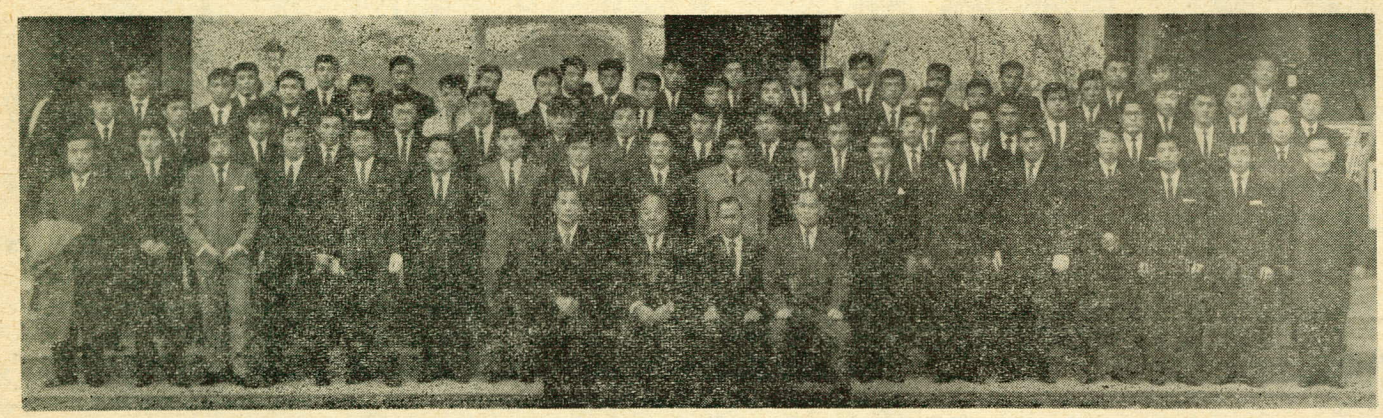
馬渡発
七・一五　七・四五　八・一五　八・四五　九・一五　一〇・一五　一一・一五　一二・一五　一・一五　二・一五　三・一五　三・四五　四・一五　四・四五　五・一五

成人の誓いも新たに

明治神宮で成人式



晴れておとなの仲間入りした若者たち
〜明治神宮で〜



一月十五日の成人式は、村で初めての試みとして、明治神宮で行なわれました。三台の貸切バスで一路東京へ。明治神宮に参拝のあと九段会館でお祝いの式を挙げ、成人としての誓いも新たにされたことでしょう。このあと国際劇場での楽しいひとときを送り、無事帰村しました。

これまで、成人式の参加者は減る一方。去年は五五％程度でしたが、ことしは約七〇％とぐんと増加しました。一月二十一日には、出席した来賓十一名の反省会が開かれましたが、「おおむね期待どうりの成果を修めたので、来年も続けたい」との意見が多くこんどの村の試みは一般に好評だったようです。

この日おとなの仲間入りした若人は村で一七五名。これら若者にかける村民の期待は大きい。

村に生きる（2）

暮らしにうるおいを

趣味の書道25年

農業のかたわら書道を楽しむ飯田満さん（四六）

家族三人で入選

忙しい野ら仕事の合い間をみては、書道の勉強に励み、これまでに県展入選四回、日本書作院展に毎年入賞するなど、立派な成績を修め、「農民書家」と親しまれている人が村内にいます。行戸の飯田満さんがその人。ことし四六才というが、もっと貫ろくを感じるのは、毛の少ないぼうず頭のせいでしょう。赤ら顔に細い目、親しみ深い顔だちです。

へたな字が動機

飯田さんが書道を始めたのは、昭和十六、七年、二〇才のころというから、この道二五年。「当時、字がへたで、なんとか一人まえの字を書きたいと習い始めたのです。」とこの道への動機を話してくれました。まもなく兵隊に行き、負傷して入院。病院のクラブへはいり、横浜商校の先生に手ほどきを受け、めきめき腕を上げたという。

復員後、しばらく自己流で書きまくっていたが、なんとか鑑賞作品を書けるようになりたいと、十年前から石岡の大久保先生に師事。先生のすすめで、三十五年から県展に出品、これまでに四回入選し、県内でも数少ない「農民書家」として知られています。去る十二月、郡内の県展出品者の懇談会が麻生町で開かれ洋画、書道などの入選者が集まったが、学校の先生やサラリーマンばかり。「百姓は私一人で、とてもさびしかった」とのこと。日本書作院に所属し、この展覧会にも毎年入賞、現在学生部の審査員をつとめています。

作品を手に語る飯田さん

毎週日曜日には、村内外から五〇人ほどの子どもたちが習字の勉強に飯田さんの家へ集まる。この週一回の書道教室も飯田さんの楽しみの一つ。「子どもたちの無邪気な心にじかにふれとても楽しいのです。思わず自分の年を忘れてしまいます」「また、これが大きいことを言うようですが青少年の不良化防止などにも少しでも役立てばと願っています。去年の子ども県展には、長女の智子さん（中学二年生）メイの美智子さん（小学校三年生）がやはり書道に出品し見事入選、飯田さんと三人そろっての入選を、家族中でお祝いしたという。

「芸は身を助ける」

書道を趣味として来て、一番よかったのは、やはりこれで命拾いしたこと。―兵隊（陸軍の船ぱく兵）に出て書道をやったのを見込まれ、事務の方に回り陸上勤務となったこと。「おかげでフカの〝エサ〟にならずにすんだのです」と笑いながら話すのでした。

もう一つ、いろいろな漢詩とか、格言とかを自分の手で書くことによって、それらの奥底にある深い意味をしみじみと味わうことができ、毎日の生活の反省や励みになったことだという。「これからもわたしのささやかな生きがいとして、ずっと続けて行きたい」とのことでした。

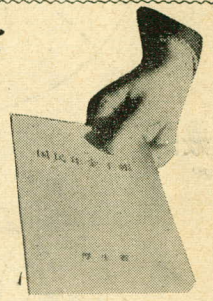
農業のリーダーでも

しかし、飯田さんの本業はやはり農業。書道の勉強は夜ばかり。気が向くと十二時すぎまで書くこともあるが、翌日の野ら仕事には影響ないようにしている。

一、八畝（一町八反）の畑は奥さんと二人、マルチング栽培による早堀り甘しょを主体とした経営です。これは「行方甘しょ」として市場の人気を集め、去年は一〇〝当たり九万円ほど上げたとのこと。飯田さんは、この出荷組合（組合員数四〇名）の組合長。また発起人となり、部落に農事研究会をつくったり、県の原種豚指定を受けた優秀な種豚を飼い、豚の改良に努めるなど、部落の農業のリーダーでもあるのです。

お忘れなく

―成人の義務です―



一月十五日は成人の日。村でも、満二〇歳を迎えた人を祝って成人式が行なわれました

二〇歳になると法律的にも社会的にも一人まえの扱いを受け、成人としてのあらゆる権利、義務が与えられ、名実ともに実社会にスタートするわけです。ここで忘れてならない義務の一つに国民年金への加入があります。

二〇歳になると、だれでもなんらかの年金制度に加入していなければなりませんが、会社、工場や官公庁に勤めている人以外は、国民年金に加入することが義務づけられています。

成人になったばかりの人たちにとっては、年金などというものは、遠い将来のものと考えられ、今からその準備をしておくという気持が薄いため、国民年金への加入についても関心が少ないようです。

しかし、現代のような生活環境では、いつ、どこで不慮の災難に会うかわかりませんし、また、平均寿命が長くなり将来、老人の多い世の中になることが予想されることから年金制度の必要を痛感します。

成人になった人たちは、近い将来就職して厚生年金などに加入することも予想され、また結婚も目前にひかえているため、せっかく国民年金の保険料を納めても、掛け捨てになるのではないかと不安に思う人も多いのではないかと思います。しかしこんな場合には、各年金制度のあいだを通算するしくみになっていますので、将来、厚生年金や、共済組合などに加入しても、国民年金が掛け捨てにならないようになっています。

国民年金は年々内容が改善され、給付される額も経済変動に合わせて増額されるなど明るい社会を作る制度です。

成人の日を機会に、もう一度、国民年金制度の意義を考えてみたいものです。

国民年金に加入するには、満二〇歳になると役場から往復はがきで「資格取得届」の用紙が届きますので、これにハンをおしてポストに入れるだけ、簡単に手続きをすることができます。

国民年金を

庁内人事

◈ご苦労さま
12・31　退職　五十野和代（保健衛生課）

◈よろしく
1・1　新採　武田喜美江（保健衛生課へ）

くらしの窓　2月

衣

虫が少なく、空気も乾燥しているので二月は虫ぼしの絶好期です。ほこりの立たない日をえらんで衣類や皮製品に風を当ててください。やなぎごうりや紙箱に入れてあるものはとくに十分風を当てあらたに防湿、防虫方法をほどこしてしまいます。

この虫ぼしはまた、家族がどんな衣装をもっているか、破れの程度はどうかなどを、再検討させてくれるので、春着のプランを立てる上で、参考となりましょう。

食

春とはいえ二月はまだまだ寒さはきびしく、青野菜が不足しがちです。もやしは安くてビタミンCを豊富に含んでいますので、大いに利用しましょう。ゆですぎたりにすぎたりしないことがたいせつ。にたったお湯に入れ、ちょっとして火からおろし、二分ほどむすのが食べごろです

肉類もこのところ高値ですが、くじらは安く、栄養価は他の肉類とかわりません。少しにおいがするのできらう人がありますが、しょうが油か、ミリンじょう油にネギをきざんで入れ、それにつけておくかするとおいしくいただけます。

住

二月でいちばんこわいのは火事。空気が異常に乾燥しておりちょっとした不注意から、たいへんな火災になります。

〝なにがなんでも火の用心〟を家族全員が、近所同志が、村の人全部が、守ってくれれば、火災はおこりません。

また、二月はまだまだ暖房用の石油ストーブあるいは炭火やれん炭を使います。火災ももちろんですが、これらの不完全燃焼による中毒もぜひ十分な警戒をおこたらないでください。

農家では、そろそろ忙しくなります。麦の土入れや、麦ふみ、中耕、追肥、果樹のせんていなど。半促成きうりなど、温床へのたねまきもこのごろです。春の花だんの準備も初旬が最適でしょう。